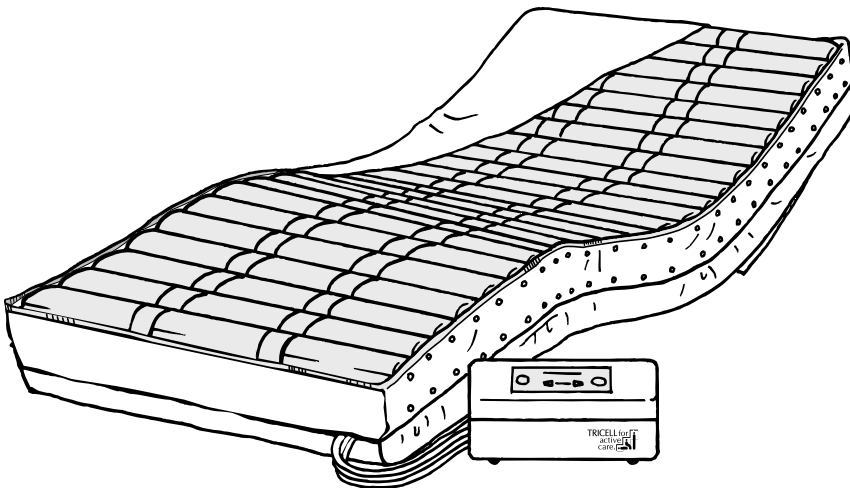


TRICELL for active care.

エアマスタートライセル

取扱説明書 〈レンタル用〉

この度はエアマスタートライセルをご利用いただき、
まことにありがとうございます。

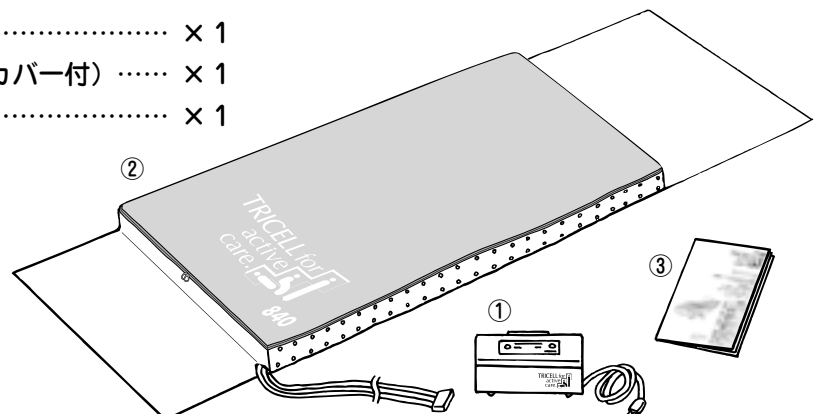


梱包内容の確認

お手元にお届けした梱包には以下のものが入っています。ご確認ください。

●エアマスタートライセルセット

- ①エアマスタートライセル専用ポンプ × 1
- ②エアマスタートライセル専用マット(カバー付) × 1
- ③取扱説明書 (保証書付/本書) × 1



安全にお使いいただくために

エアマスタートライセルの取り扱いにあたっては本書をよく読んでご理解いただき、必ず本書の指示に従ってください。

重要安全情報

「エアマスタートライセル」のご使用中に生じる可能性のある災害を回避するためには、その原因となり得る危険の要素がどこにあるかを、予め知っておくことが不可欠です。しかし当社において、潜在的なあらゆる危険性を予想することは困難です。従って、本書には知り得る限りの安全に関する警告情報を、下記のように定義して記載してあります。



警告：このマークにある指示に従わなかった場合に、物的損害や負傷、死亡につながる恐れのある危険性を警告しています。特に重要なため、下記「安全上のご注意」にまとめて記載し、警告します。

安全上のご注意＜警告＞



1

エアマスタートライセルは、空気の層で患者の身体を柔らかくフロート(浮かせて)して保持するのが特徴です。従って、心臓マッサージ等、反発力の強い床などの上でないと効果がでない処置が予め予測されるような患者への使用はお控えください。ICU等、万が一の応急処置で心臓マッサージの予想される病棟でのご使用に際しては、固い板をご用意いただくなど医師の指導の下でのご使用ください。



2

エアマスタートライセルの使用に際しては、必ず医師や看護師などの専門家と相談の上でのご使用ください。また使用中に身体に異常を感じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。症状悪化や事故の恐れがあります。



3

送風チューブは必ず足側になるようにエアマスタートライセルを設置してください。送風チューブが頭側になると、送風チューブが首にからんで重大な事故を招く恐れがあります。



4

エアマスタートライセルをご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しない場合には、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因にもなります。



5

エアマスタートライセルの上で、飛び跳ねないでください。ケガをしたり、破損の原因になります。エアマットの上で立ち上がったたり、膝を立てたりしないでください。局所に高い圧力がかかり続けるとエアセル破損の危険性があります。



6

エアマスタートライセルの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。



7

エアマスタートライセルの上での喫煙はお止めください。火災の原因等になることがあります。



8

送風チューブを束ねたり専用マットの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマット内に送りこまれなくなり、エアマットとしての期待した効果が得られない恐れがあります。



9

エアマスタートライセル専用ポンプを浴室などの湿気の多い場所で使用したり、エアマスタートライセル専用ポンプに水などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。感電事故や故障の原因となります。



10

エアマスタートライセル専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント(100V/50/60Hz)に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。



11

濡れた手で、エアマスタートライセル専用ポンプの電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故や故障の原因となります。



12

エアマスタートライセルを長期間使用しないとき、またエアマスタートライセル専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因となります。



13

ご自分で修理するためにエアマスタートライセル専用ポンプのネジを取り外し、ケースを開けることは絶対にしないでください。感電事故や故障の原因となります。



14

エアマスタートライセルのマットと専用ポンプ以外の組み合わせでは、絶対に使用しないでください。期待した効果が得られないばかりか、火災事故や故障の原因にもなります。



15

エアマスタートライセル専用ポンプを当社に承諾無しで改造したりすることは、安全上で重大な影響を及ぼす恐れがあります。決してお客様による改造は行わないでください。



16

エアマスタートライセル専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントからプラグを抜く時には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。

使用方法

以下の作業を行ってからご使用を始めてください。

1.専用マットをマットレス(敷き布団)に固定します。

●頭側、足側巻き込み部をマットレス(敷き布団)に巻き込んで固定してください。

2.専用ポンプに送風チューブを接続します。

●専用マットに付いているカプラーを、専用ポンプの差し込み口に、しっかりと接続します。

3.専用ポンプを設置します。

●フットボードのあるベッドでご使用の場合、ポンプ背面のフックにて固定してください。
●それ以外の場合、床に水平に置いてください。

4.専用ポンプのプラグをコンセントにつなぎ、作動させます。

●コンセントを入れると自動で電源が入り、赤いランプが点灯します。

5.ご使用者の体重に設定します。

●体重設定ボタンを押し、ご使用者の体重に合わせます。
●約20分で使用可能な状態になります。

製品の説明

各部の名称

マット

●エアマスタートライセル専用カバー

●足側巻き込み部

●ループ

●エアセル部

●頭側巻き込み部

●エアマスタートライセル専用マット

●ベースシート(下部)

●送風チューブ

④送風チューブは予めエアマスタートライセル専用マットに取り付けられています。マットから抜き取らないでください。

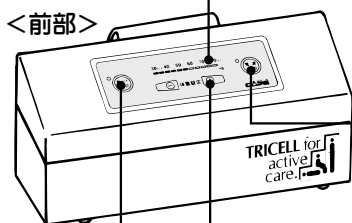
●エア抜き栓

収納、運搬時など急いで空気を抜く際ご使用ください。

⑤再度、ご使用になる際は必ず差し込んでください。

ポンプ

<前部>



●体重設定表示
設定体重がランプで表示されます。

●電源ボタン
電源ボタンを押すと赤いランプが点灯し、ポンプが作動します。

●体重設定ボタン

体重設定表示を見ながら体重設定ボタンで使用する方の体重に合わせます。

④ご使用できる状態になるまで20分程かかります。完全に膨らんでからご使用開始してください。

●背上げボタン

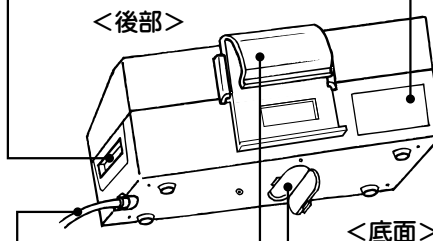
介護用ベッドでご使用中、背上げ状態になさる際、押してください。臀部の底つき防止をサポートします。

④本モードは2時間で通常モードに切り替わります。引き続き背上げ状態になさる場合、再度ボタンを押してください。

●送風チューブカプラー差し込み口
マット側の送風チューブ先端のカプラーをしっかりと接続します。

●エアポンプ取扱表示シール

<後部>



●電源(AC)コード

④ご使用中にコンセントを抜いたり、停電などで1度電源が切れた場合、通電後に体重設定などを再度行ってください。

●エアフィルター

エアフィルターは使用環境にもよりますが、連続使用の場合、1年に1回の交換をお勧めします。

●ポンプフック

ベッドのフットボードに差し込んでご使用ください。

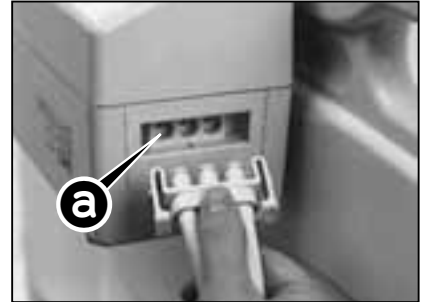
故障かな?と思ったら

エアマスタートライセルをお使いになっていて、何らかの異常や変化、疑問を感じられたときは、下記のことを確認してください。それでも原因が不明なときは、故障や部品破損の可能性があります。ご使用を止め、ご購入先までお問い合わせください。

① マットに関して

Q₁ マットが膨らまない・柔らかすぎる

- A₁** ●送風チューブがポンプから外れていませんか? **a**
→カチッと音がするまではめてください。
- 送風チューブが折れ曲がったりベッドに挟まっていませんか?
→確認してみてください。
- エア抜き栓が外れていませんか? **b**
→しっかり差し込んでください。



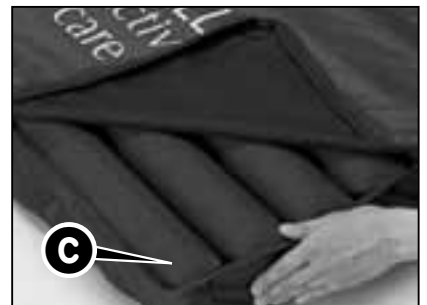
Q₂ エアセル部が部分的にしか膨らまない

- A₂** ●エアセルが送風チューブから外れていませんか?
→エアセルのコネクターが全て(24本)つながっているか確認してください。 **c**



Q₃ マットが硬すぎる

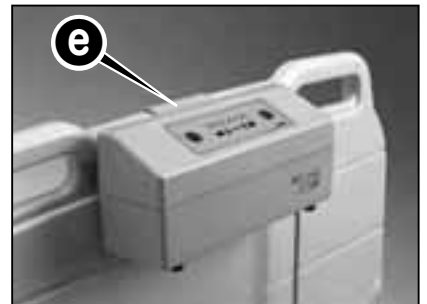
- A₃** ●体重の設定ボタンが間違っていて設定されていませんか? **d**
→体重を適正に調整してください。



② ポンプに関して

Q₄ ポンプの音が異常に大きい

- A₄** ●ポンプの上に物があったり他の物に触れていませんか?
→取り除いてください。また、ベッドのフットボードにしっかりかけてください。 **e**



Q₅ ポンプが一時的に動いたり止まったりする

- A₅** ●異常ではありません。マイコンでマットの圧力を調整しています。
→安心してお使いください。

Q₆ 電源ボタンが点滅する **f**

- A₆** ●空気もれの可能性があります。
→「①マットに関して」の作業を行ってください。

Q₇ ポンプが作動しない

- A₇** ●コンセントは接続されていますか?
→確認して外れていれば差し込んでください。
- 電源ボタンは「ON」になっていますか? **f**
→電源を入れてください。



お問い合わせは

株式会社 **ケーブ**

〒238-0013 神奈川県横須賀市平成町2-7
TEL : 046-821-5511(代) FAX : 046-821-5522
ホームページ : <http://www.cape.co.jp/>
E-mail : lovingcare@cape.co.jp